

【2026 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
宗教学		選択	1	1.2	前期 (後半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇		kyoumu	チャットにて随時受付		
授業の目的・概要	<p>1. 目的 本科目は、受講生が国内外の宗教的諸事情に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。</p> <p>1) 一方で、現在の若き日本人の多くは、「宗教って要らねんじゃね」「なんか危ないっぼいから近寄らない方が無難だよ」くらいに感じていよう。他方で、初詣、お盆、クリスマス、また結婚式、葬式等で、日本人ほど、諸宗教に気軽に、多彩に触れる民は、他にいない。いったい日本人はどのような宗教観を持っているのだろうか？ また一般に、宗教とはなんであり、今後どうなっていくのだろうか？</p> <p>2) 宗教は文化・文明の基盤である。これまで人類が最も叡智を投入してきたのもこの宗教領野であった。とても豊穡な、しかしきわめて誤解多き知的世界である。</p> <p>3) よって宗教は、教養人にとって最必須の学問である。特に療法士を目指す人にとって、現場での宗教的な話題・感覚は不可避となり、適切に扱えなければならない。大方の受講を強く勧める。</p> <p>2. 概要 講義5回、それを踏まえActive Learning3回、の順に積み重ねていく。</p> <p>1) まず、宗教の全体像、および地歴的・論理的展開相、さらには現代社会が抱える宗教的諸問題について、5回連続の講義を行う。</p> <p>2) その後、①Group Presentation、②Group Debate、③Total Discussion という3つのスリリングな企画がみなさんを待っている、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	<p>1. 国内外の宗教的な話題・諸問題をキャッチできるよう、高感度のアンテナを張っておくこと。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point Sheets を事前に up するので、予め目を通しておくこと。</p> <p>3. 事後の課題は、自分から調べ考えなければならないが、とても力がつくので、めげずに行うこと。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	宗教の全体像・歴史・論理を、基本的に説明することができる。			HSU (1)、(2)、(5)	
②	代表的な諸宗教に関し、歴史的・論理的展開相を、基本的に説明することができる。			HSU (1)、(5)	
③	現代世界の宗教的諸問題について、様々な角度から調査・考察・発表・議論できる。			HSU (3)、(4)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	科目の Guidance. 人間 (言語+宗教)・宗教 (全体像)・自然宗教 (靈魂神) を学ぶ。	同時双方向 遠隔 授業	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	2	
2	一神教 (概論・ユダヤ教・キリスト教・イスラム教) を学ぶ。	同時双方向 遠隔 授業	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
3	インド教 (概論・バラモン教・仏教・ヒンドゥー教・イスラム教の流入・現在等) を学ぶ。	同時双方向 遠隔 授業	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
4	日本教 (概論・神道・仏教の流入・儒学・現在等) を学ぶ。 中国教 (自生二教・外来三教・現在等) も扱う。	同時双方向 遠隔 授業	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
5	これまでの小括、および近現代・未来の宗教事情を学ぶ。 Active Learning (AL) のための Guidance.	同時双方向 遠隔 授業	事前に授業資料に目を通す。 事後に課題に答え提出する。	4	
6	AL1 : Group Presentation.	同時双方向 遠隔 発表	指定課題に取り組む。	4	
7	AL2 : Group Debate.	同時双方向 遠隔 対論	指定課題に取り組む。	4	
8	AL3 : Total Discussion.	同時双方向 遠隔 討論	指定課題に取り組む。	4	

【2026 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

試	期末 Report.		
---	------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	40	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	0	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・記述の力量に着目する。	Comment を付け、返送する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	[Presentation 力、Debate 力、Discussion 力] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・質疑応答の力量に着目する。	Comment を付け、結果を公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・記述の力量に着目する。	Comment を付け、返送する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし。
教員の実務経験	なし。
実践的授業の内容	なし。
そ の 他	1. 授業は Teams を用いた遠隔方式で行う。課題等も Teams を用いる。遠隔の受講・発表等の操作に慣れておくこと、よくわからないときは、他の受講生・演習や学年担当の先生・事務の方、などに、早目に相談すること。および通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を強く勧める。 2. 受講人数、授業進展状況、授業環境等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。